1 部会活動

☑部会開催回数および開催日

- ・12回開催(4/23,5/28,6/25,7/23,8/27,9/24,10/22,11/26,12/24,1/29,2/25,3/25)

☑参加機関

- ・各地域部会(中央北、東部、南西)からの代表者
- ・救護施設 浦安荘 ・岡山市障害者基幹相談支援センター
- ・オブザーバー 岡山市障害福祉課

2 活動の内容

☑地域課題の抽出～整理～調査、研究を適宜実施

☑課題解決に向けた方策の検討

☑社会資源の開発や改善に向けた提言等

☑他部会、WGとの連携

☑就労継続支援B型事業所創設の企画

☑日中サービス支援型GH評価票の見直し

☑サービスの質向上に向けた研修会の企画(共同生活援助事業所対象)

3 就労継続支援B型事業所連絡会設立に向けた取り組み

○参加機関:(社福)浦安荘 (社福)育成会
(社福)弘徳学園 (社福)泉学園 より各1名

○開催日・内容

5/23:全体会の開催 (in福祉交流プラザ旭東)

6/25:全体会振り返りと今後について(障害福祉課の参加あり)

7/23:GW型フォーラム(8/6)に向けて障害福祉課と協働企画会議

9/24:GW型フォーラム振り返りと今後について

12/6:就Bランチ見学会(12/6)の開催

2/25:就Bランチ見学会の振り返りと今後について

就B連絡会全体会 5/23

○福祉交流プラザ旭東

○13:30~15:00

○参加者 33名+障害福祉課

○各事業所の近況や作業状況について

○連絡会で企画・実施・望むこと

事業所見学ランチ会 12/6

○西南仲よし

○障害者デイセンターさくら(CAFÉつみ木)

○参加者 18名(障害福祉課含む)

○事業所からの説明、質疑応答

○実施後アンケート

4 日中サービス支援型グループホーム 評価票の見直し

○各地域部会からの意見を参考に、質問内容、文言等の見直しを実施。

○修正した書式で各地域部会で評価を実施していただく。

5 共同生活援助事業所連絡会(仮称) 設立に向けた取り組み

○参加機関

(社福)浦安荘 (社福)育成会

(社福)弘徳学園 (社福)泉学園 より各1名

○開催日・内容

6/25:どのような会にしていくか

8/27、10/22、12/24、1/29:研修会企画

3/25:研修会振り返り、次年度について

6-1 研修会の開催

つなぐ・つながる
支援の輪 Vol. 9

利用者さんは
どう思っ
てはるんやろ?

グループホーム
にとって
利用者とは
どんな存在
なのか?

令和7年
3/6 木

開催時間
13:45-16:30

13:30 受付

13:45 開会
岡山市障害者基幹相談支援センター
センター長 村上真氏

14:00 講演
『期待される役割と未来予想図』
講師 美作大学 社会福祉学科 教授
薬師寺 明子氏

15:00 休憩

15:10 事例発表
発表者
(社福)弘徳学園グループホームひゅうまん
サービス管理責任者
國本悠介氏
(社福)浦安荘 にこにこホーム
サービス管理責任者
左島須美子氏

16:20 閉会あいさつ
岡山市保健福祉局障害福祉課 課長補佐
安井 宏典氏

16:30

目的 共同生活援助事業は、障害のある方の暮らしの場を提供する重要な役割を担っています。近年、岡山市内には多くの共同生活援助事業所(以下、グループホーム)が開設されています。各事業所の特色や取り組みは多様ですが、障害のある方にとって最善の利益が提供される場となるように、今一度グループホームの目的と役割を確認し、サービスの質向上を目指すこと、またそのための横のつながりを作るきっかけとなることを目的として本研修会を開催するものです。

場所 ウェルポートなださき かしの木ホール
岡山市南区片岡159-1

対象者 岡山市在所のグループホームに勤務している方、
その他関心のある方

参加費 無料

主催 岡山市障害者自立支援協議会 福祉サービス部会
共催 岡山市障害者基幹相談支援センター

イラスト作: Kurumi

6-2 研修会の開催

○参加状況

共同生活援助事業所 44名

行政 1名

福祉サービス部会 6名

6-3 参加者の声(アンケート抜粋)

回答数39件

○講演から

・GHは選択肢の一つであり、利用者さんが主体的に生活していく場ということを改めて感じた。

・入所施設ではなく、グループホームが選ばれる意義・意味を改めて考えた。

・責任と安全で「施設」のようなGHを求められることが増えてきました。その場合やはり本人が主になりやすく、モヤモヤがありました。今日の話聞いてたくさんのヒントをもらえました。

○事例発表から

・失敗する権利を支援チームを組んで支えようとした取り組みからたくさんのアイデアを学ぶことができました。

・本人の言葉を聞いて、支援のあり方について考えさせられた。「本人」がどう感じているか、それを一番に考えられる支援員でありたい。

・人的環境は利用者にとってとても大きいことだと思った。私たちにとっては職場だが、利用者は住んでいる家であることを常に思っていたい。